

『パリのアート・ライブラリー』の試み

著者	波多野 宏之
雑誌名	国立民族学博物館調査報告
巻	35
ページ	57-63
発行年	2003-02-10
URL	http://doi.org/10.15021/00001974

『パリのアート・ライブラリー』の試み

波多野 宏之

国立西洋美術館 学芸課主任研究官

- | | |
|---|--|
| 1 はじめに | 7 各館の詳細情報（データ・利用案内）
フランス美術館局資料センター
（データ・利用案内） 図5 |
| 2 基本作業 | 8 各館の詳細情報（解説）—国立美術
館図書館・アルシーヴ 図6 |
| 3 目次—パリのアート・ライブラリー
図1 | 9 各館の詳細情報（文献） |
| 4 館名リスト—館名リスト 図2 | 10 動画データ |
| 5 各館の総合案内—パリのアート・
ライブラリー 国立美術館図書館・
アルシーヴ（案内） 図3 | 11 まとめ |
| 6 各館の目次—フランス美術館局資料
センター（目次） 図4 | |

1 はじめに

新しいコンピュータ技術を用いて既存の文字情報や映像情報が、いかに効果的に参照できるか。ここでは、既存の紀要論文を素材とした立体的な情報参照ツールの形成について述べる。

民族学研究の分野においても、関連文献を集積した専門図書館の存在は不可欠である。研究者は、その所属機関の図書館の内容を熟知していると同時に、国内外の図書館のありようについても見聞を広めておく必要がある。筆者は、美術の分野における情報資源のありようについて研究する立場におり、近年、文部省の在外研究の一環として、フランスにおける美術情報資源について考察する機会を得た。そしてその結果を「フランスにおける美術研究支援情報資源の集中と分散」のタイトルでまとめ、勤務先の『研究紀要』に発表した。これはあくまでもひとつの論考であり、図書館や資料センターのディレクターや統計書の類のように実用的な文字・数値情報を提供することを意図してはいない。

しかし、こうした小論を執筆するに際しては、実際に多くの図書館・資料センターを訪問し、担当者からの聞き取りやこれら機関の運営に関わるさまざまな情報資料を入手している。すなわち、論文記事の背後に文字、静止画（写真や絵葉書）、動画（ビデオやLDなど）、音声（ビデオや録音テープなど）等々の素材を収集している。そこでこれらをより有効に活用するものとしてこれら素材のマルチメディア（統合）化

が考えられる。こうした観点からこれを今回の CD-ROM 作成に際して、情報資源の立体的活用のプロトタイプとして提示してみることにした。もっとも、時間の制約があり、枠組みの提示に留まり、実データが不十分にしか入っていない個所のあることを最初にお断りしておきたい。実例としては、国立美術館図書館・アルシーヴ、フランス美術館局資料センター、ルーヴル美術館絵画部資料センター、国立美術館連合写真部についてデータを作成し、CD-ROM に組み込むとともに、本稿でも適宜、図で示した。

2 基本作業

論文テキストおよび図表 (WORD 文書) の HTML 化

HTML 文書中のハイパーリンク

目次/本文・図版・図表 (組織図, 館名リスト, 地図等)

本文中の注番号と注本体, 館名と館名リストおよび各館の詳細情報 (データ・利用案など)

各館データ・利用案内等の追加

動画データ等のデジタル化

3 目次—パリのアート・ライブラリー 図 1

図 1 のとおり、組織図、館名リスト、論文「美術研究支援情報資源の集中と分散」、論文「美術研究支援情報資源の集中と分散」(英文要約)、パリ市内地図、終了で構成されている。このようにして、利用者は下記の 5 つの異なった情報アクセスが可能となる。

-
- 組織図 (工事中)
 - 館名リスト
 - 論文
「美術研究支援情報資源の集中と分散」
 - 論文
「美術研究支援情報資源の集中と分散」(英文要約)
 - パリ市内地図 (工事中)
 - 終了
 -

図 1 パリのアート・ライブラリー 目次 index.htm

- ・ 組織図（〔フランス〕文化省組織図，フランス美術館局組織図）から当該図書館資料センターの情報や論文中の該当箇所へアクセスする
- ・ 館名・リストから当該図書館資料センターの情報や論文中の該当箇所へアクセスする
- ・ 論文そのものを読む
- ・ 論文の英文要約を読む
- ・ パリ市内地図から当該図書館資料センターの情報や論文中の該当箇所へアクセスする

4 館名リスト—館名リスト 図2

図2のとおり，国立美術館図書館・アルシーヴなど20の図書館・資料センターをあげて，それぞれから，各館の詳細情報（データ・利用案内）や論文中の該当箇所へのアクセスを容易にした。リストのうち，青色文字で表示した館は，何らかの詳細情報（案内，目次，データ・利用案内，解説等）とリンクしている。

1. [国立美術館図書館・アルシーヴ](#)
2. [フランス美術館局資料センター](#)
3. [フランス美術館研究ラボラトリー資料センター\(工事中\)](#)
4. [フランス美術館修復部資料室\(工事中\)](#)
5. [ルーヴル美術館絵画部資料センター](#)
6. [ルーヴル美術館版画・素描部資料センター\(工事中\)](#)
7. [ルーヴル美術館工芸部資料センター\(工事中\)](#)
8. [ルーヴル美術館彫刻部資料センター\(工事中\)](#)
9. [ルーヴル美術館古代エジプト部資料室\(工事中\)](#)
10. [ルーヴル美術館文化部メディアテーク\(工事中\)](#)
11. [国立美術館連合写真部](#)
12. [ルーヴル学院図書館\(工事中\)](#)
13. [ルーヴル学院フォトテーク\(工事中\)](#)
14. [オルセー美術館図書館\(工事中\)](#)
15. [オルセー美術館資料センター\(工事中\)](#)
16. [国立造形芸術センター／造形芸術代表部資料センター\(工事中\)](#)
17. [国立文化財学院資料センター\(工事中\)](#)
18. [パリ大学ジャック・ドゥーセ美術考古学図書館\(工事中\)](#)
19. [フランス国立図書館版画・写真部\(工事中\)](#)
20. [アルスナル図書館\(工事中\)](#)

図2 館名リスト 4a.htm

5 各館の総合案内—パリのアート・ライブラリー 国立美術館図書館・アルシーヴ（案内） 図3

データ構造の中での各館の位置を知るため，所属部局，組織図，館名リスト，各館目次，終了へのリンクが張られている。例として図3に国立美術館図書館・アルシーヴの案内を記す。

-
- [所属部局](#)
 - [組織図](#)
 - [館名リスト](#)
 - [国立美術館図書館・アルシーヴ目次](#)
 - [終了](#)
-

図3 パリのアート・ライブラリー 国立美術館図書館・アルシーヴ（案内） 8a-1.htm

6 各館の目次—フランス美術館局資料センター（目次） 図4

各館を選択すると，例えば図4のと通りの目次が現れる。データ・利用案内，解説，文献，論文のほかに，館名リストへの戻りと終了が設定されている。

-
- [データ・利用案内](#)
 - [解説](#)
 - [文献](#)
 - [論文「美術研究支援情報資源の集中と分散」](#)

 - [館名リスト](#)
 - [終了](#)
-

図4 フランス美術館局資料センター（目次） 5a-2.htm

7 各館の詳細情報（データ・利用案内）——フランス美術館局 資料センター（データ・利用案内） 図5

各館の詳細情報として、住所、電話番号、FAX番号、利用時間、ホームページ・アドレスが掲載される。このアドレスから直接インターネットで当該ホームページにアクセスすることも可能となる。なお、解説、文献、論文、館名リストへのリンクも張られている。図5にフランス美術館局資料センターの例を示す。

[・解説](#) [・文献](#) [・論文](#) [・館名リスト](#)

1. 住所
6, rue des Pyramides 75041 Paris cedex 01
 2. 交通機関
Métro:
 - Tuileries (ligne 1),
 - Pyramides (ligne 7),
 - Palais-Royal (lignes 1, 7),
 - Concorde (lignes 1, 8, 12)
 autobus:
 - lignes 21, 27, 29, 68, 72, 81, 95
 3. 電話番号
(1)40 15 36 28
 4. FAX
(1)40 15 36 60
 5. 利用時間
1:30a.m. - 5:30p.m.
 6. <http://www.culture.fr/>
-

図5 フランス美術館局資料センター（データ・利用案内） 6a-2.htm

8 各館の詳細情報（解説）——国立美術館図書館・アルシーヴ 図6

ここには論文テキストとは異なった、利用上の留意点などの実際的な解説を掲載する。データ・利用案内、文献、論文へのリンクが張られている。

[データ](#)・[案内](#)・[文献](#)・[論文](#)

図6 国立美術館図書館・アルシーヴ 7a-1.htm

9 各館の詳細情報（文献）

ここには、当該図書館・資料センターに関する参考文献を掲載する。データ・利用案内、解説、論文へのリンクが張られている。

10 動画データ

ルーヴル美術館絵画部資料センターの作品関連資料ファイルおよび国立美術館連盟写真部について、8ミリビデオで撮影したテープからデジタル化を行い、それぞれの解説のページのウィンドウに貼り付けた。

11 まとめ

今回試みたのは、ひとつの論文内での各種データの立体的関連付けおよび論文の周辺に存在する各種メディア／情報の活用をひとつのプロトタイプとして提示することであった。

かつて筆者は、編著者の一人として『フランス図書館・情報ハンドブック』と題する小冊子を刊行したことがある。これは、フランスの図書館や出版事情を概観し、とりわけ、筆者の分担として「パリ図書館・書店マップ」なる章を収載している。そこでは、パリ市内およびその近郊を11のブロックに分けてイラストマップを掲出し、その各々について100件余の図書館・書店その他情報機関をマッピングした。その見開きページには機関の住所、電話番号、最寄地下鉄駅、開館日時、機関の種類、創立年、特色等を記した一種の地図付きディレクトリーである。この小冊子は、刊行後すぐに品切

れとなって今日に至っており、データも陳腐化しているが、この種の資料こそデジタル化し、CD-ROM などのかたちでアップデート化することが望まれるものであろう。

本『パリのアート・ライブラリー』の試みは、上記の経験を背景にもつものであり、こうした方法をさらに進めれば、個人の集積データにとどまらず、複数の研究者の情報源を統合する主題別の電子事典、さらには電子図書館へと発展させることも可能となろう。民族学研究分野での試みを期待したいところである。

なお、『パリのアート・ライブラリー』の試み——美術研究支援情報資源の集中と分散」については、CD-ROM を参照して下さい。

文 献

波多野宏之

- 1989 『フランス図書館・情報ハンドブック』（日仏図書館研究シリーズ2）日仏図書館学会編、P.85、東京：日仏図書館学会。
- 1997 「美術研究支援情報資源の集中と分散——フランスにおける美術館・図書館・情報システムの特徴をめぐって その1」『国立西洋美術館研究紀要』1、74-87。

